

# 国際日本学部 2023 年度夏期 海外ボランティア・プログラム

## 参加報告書（インドネシア・ブディルフル大学）

### ① 本プログラム参加のきっかけ・目的について（200 字以上）

父親の仕事の影響で昔から海外留学に興味があり、高校 1、2 年の時に長期留学プログラムでインドネシアに行くことを決めていましたが、新型コロナウイルスの影響で留学プログラム自体が中止になりました。大学でインドネシアに行く機会があり、ボランティア実習に参加することに決めました。また、高校の留学プログラムでのオンラインオリエンテーションでも他国の留学生と交流できましたが、実際に現地に行って異なる文化を体験してみたい、具体的に日本文化のどのような部分に興味をもたれているのかを知りたいと思っていました。ボランティア実習の目的が文化交流であるため、この機会を活かして挑戦したいと考え、参加させていただきました。

### ② プログラム内容について（各項目 200 字以上）

#### 1. ボランティア活動・ワークショップについて

ワークショップは高校生がキャンパスに来るので、日本語を教える時間、木目込みを教える時間、書道体験の時間、たこ焼きを作る時間に分かれて活動を行いました。日本語を教える時間では挨拶、数、簡単な会話などを練習しました。ブディルフル大学の付属高校ではこのワークショップの写真をInstagramに投稿して参加する写真コンテスト（賞金あり）が開催されていたようで、時代の最先端をいっている、と驚いた記憶があります。ブディルフル大学の付属高校では日本語のコースが設けられているらしく、生徒の日本語のレベルは高かったです。

#### 2. 授業（インドネシアの歴史や文化、インドネシア語）について

インドネシア語の授業では簡単な挨拶や文法を習いました。先生がとても明るい方で、ジェスチャーを交えながら教えて下さり、授業の後にアイスをくれることもあり、私たちも楽しみながら学ぶことができました。平日の午後に数か所の博物館をまわり、インドネシアの古代史～第 2 次世界大戦後の発展までの説明を受けたこともありました。インドネシアが日本を含む様々な国の影響を受けて成長してきた様子を見ることができ、とても印象的でした。

#### 3. フィールドトリップ（バンドンツアー）について

バンドンツアーではインドネシアの伝統音楽のショーがとても印象的でした。実際にインドネシアの伝統的な楽器に触り、演奏を体験できたことがとても楽しく、日本とはひと味違うカラフルな伝統衣装を見ることができたことがとても嬉しかったです。現地の丸亀製麺にも行くことができ、現地のオリジナルメニューや日本と違うシステムを見て、企

業努力を間近に見ることができました。意外とインドネシアでは魚や海鮮を食べる機会がなく、バンドンツアーでインドネシアの魚料理を初めて楽しむことができました。

### ③ 本プログラムを終えての学習成果・感想（200字以上）

今回、海外に行くこと自体が初めてであり、出発前は慣れない環境や知らない外国語に囲まれての生活に不安を感じていましたが、実際にインドネシアで過ごすうちに、楽しく過ごすことができました。現地の人もとても優しく、特にバディさんたちとは最後の週末と一緒に遊びに行くほど仲良くなり、一緒に日本に連れて帰りたいたいになりました。また、文化やイスラム教の風習など、本やインターネットで調べても分からなかったこともたくさんあり、実際に現地に足を運ぶことの重要性を感じました。

### ④ 現地での生活等について（今後参加する学生へのアドバイス含む）

#### 1. 滞在先の治安・キャンパス・施設について

大学のキャンパスは中野キャンパスほど最新設備が整っているわけではないですが、個人的には広くて綺麗な場所だと感じました。基本寮からキャンパスまでは車移動なのでひたたくりやすりはあまり心配しなくてもいいと思います。寮は2階建て、8部屋程で基本相部屋でした。どうやら高級住宅街の中にある（現地の学生さんがここは **expensive area** だと言っていた）ようなので防犯面はそこまで心配しなくていいと思います。実際、私が滞在していた時も防犯面が心配になるような事件は起きませんでした。

#### 2. 食事について

朝食、昼食は大学が用意してくれて、ボランティアの日はキャンパス内で食べていました。寮にいる日は先生が全員分届けてくれるので自炊はしなくていい環境でした。夕食はショッピングモールで食べたり、**grab** (**UberEATS** のような宅配アプリ) で注文したり、各々買ってきたものや日本から持ってきたものなどを食べていました。揚げ物、インスタント食品が多く、生野菜がかなり少なかったので可能であればビタミンサプリなどを持っていくことをお勧めします。現地の料理の味付けは焼きそばのようなソース系のもの、グリーンカレーのようなスパイス系のもの、チキンスープなどのコンソメっぽいものに大きく分けられますが、味付けが舌に合っていて食事を楽しんでいる人と、舌に合わず苦戦している人で大きく二分割されている感じでした。

#### 3. 交通手段について

基本、寮からキャンパスは車で、大学が送迎してくれます。車、バイク社会なので電車は観光で1回乗っただけでした。個人で遊びに行くときや病院に行くときは **grab** でタクシーを呼んでいました。

#### 4. 通信環境について

寮に **wifi** がありますが、部屋ごとに繋がりやすさがバラバラです。キャンパスでも **wifi** は使えます。私は楽天の海外でも使える **SIM** プランに入っていましたが、場所によって

繋がりやすさが違い、圏外になることもあったので海外 SIM を買っておくのが一番いいのではないかと思います。2～3 GB 見込んでおけば足りなくなることはないと思います。

#### 5. 買い物事情について

ボランティアが終わった後や休日にショッピングモールに連れて行ってくれるので買い物はモールの中のスーパーやショップで済ませていました。日本のスーパーと品揃えは変わらず、日用品は現地のスーパーでも揃います。物価も安く、洋服3～4枚、スーパーで買った食料、日用品、お土産、タクシー代、モールでの外食等、かなり散財したつもりでしたが、トータル3万円弱で収まっていました。1～2万円両替しておけば足りなくなることはまず無いと思います。

#### 6. 医療事情について

医療事情について 胃腸炎で現地の病院の緊急外来にお世話になりました。行き帰りのタクシー代が合計1500円ほど、診療費、点滴、薬等合わせて26000円ほどでした。基本的に英語が通じる環境でした。その場でクレカで支払い、帰国後に保険会社に請求する形をとっています。

#### 7. その他、生活等に関して参考となることがあれば教えてください。

—

以上